

20川建第663号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

川棚町長 竹 村 一 義



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(提出)

平成20年9月19日付け、国道企第37号に係る標記について、別紙のとおり
提出しますので、よろしくお願いします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

長崎県 川棚町

無駄と判断される歳出は徹底的に排除する一方で、真に必要とする道路は精査・見極めた上で、確実な財源確保をお願いしたい。
とりわけ、本町は本土西端に位置するため、交通網の整備充実が町勢発展のためには不可欠であり、道路は町の産業・観光の振興や安全な生活の保障を左右する重要な社会資本であるため、道路整備の重要性・緊急性は依然として高い。

今後の道路行政についての意見・提案

②—1 地域の現状と抱える課題

様式②

長崎県

川棚町

○現状

主な幹線道路としては、国道205号、主要地方道川棚有田線、一般県道嬉野川棚線・大崎公園線等がある。

○課題

■国道205号の整備

佐世保市～県央～県南、長崎空港等へ至る主要路線。
長崎自動車道東そのぎインターチェンジへのアクセス道。
通勤時間帯や休日に市街地周辺で交通渋滞が発生。
渋滞解消のため、拡幅整備や右折帯の設置などを一層推進する必要がある。

■地域高規格道路の整備

県北地域と県央・県南地域の連携強化や交通時間短縮を図るため、長崎自動車道東そのぎインターチェンジと西九州自動車道を結ぶ地域高規格道路の建設が求められている。

■町内外を結ぶ県道網の整備

災害に強く、機能的な道路を整備する必要性がある。

■町幹線道路を補完する町道の整備

300路線の町道がある。
住民の生活道路、産業基盤道路として、今後も生活の利便性と安全性を確保していくため、整備・充実の必要性がある。

■施策の方向

主要な幹線道路の整備を促進するとともに、住民の日常生活に密着した生活道路を安心して利用できる空間として整備を促進する。

■施策

①広域幹線道路の整備充実

円滑な交通を確保し、利便性が高く住みやすい地域社会を構築するため、国道205号をはじめとする幹線道路の整備促進。

佐世保市や周辺町、広域圏内外との連携強化や交通時間短縮を図るため、長崎自動車道東そのぎインターチェンジと西九州自動車道を結ぶ地域高規格道路の建設を関係機関へ要望。

②地域幹線道路の整備

主要地方道川棚有田線や一般県道大崎公園線の道路拡幅改良や歩道の設置により、利便性と快適性、安全性の向上を図る。

一般県道嬉野川棚線の整備を促進し、隣接市町とのネットワークの強化を図る。

③生活道路の整備

地域内交通の利便性、防災性を向上するため、生活道路を整備促進する。

歩行者、自転車の視点にたって生活道路の整備を充実し、交通弱者にやさしい道路づくりを推進する。

関係機関と連携し、踏切道改良の促進を図る。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式④

長崎県

川棚町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	国道205号、地域高規格道路の整備	長崎自動車道東そのぎインターチェンジ、長崎空港等、交通要所へのアクセス時間短縮により、人やもののスムーズな交流が確保され、地域経済の活性化が期待できる。	
総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	主要町道の歩道整備	安全な歩道帯を整備することで、歩行者や自転車のより高い安全性を確保する。	